

輸出事業計画

申請者名：株式会社 エマック、品目：イワシ加工品、カニ加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・マイワシは大漁時に魚価が著しく低下するなど、その水揚げ量を完全に活かしきれていない。
- ・アイスブロックは、結局餌料とししか用いることができず、安価で輸出している冷凍業者は儲からない図式が出来上がっている。
- ・銚子漁港は全国随一のマイワシの水揚げ量を誇る漁港であり、高付加価値加工品の輸出が必須である。

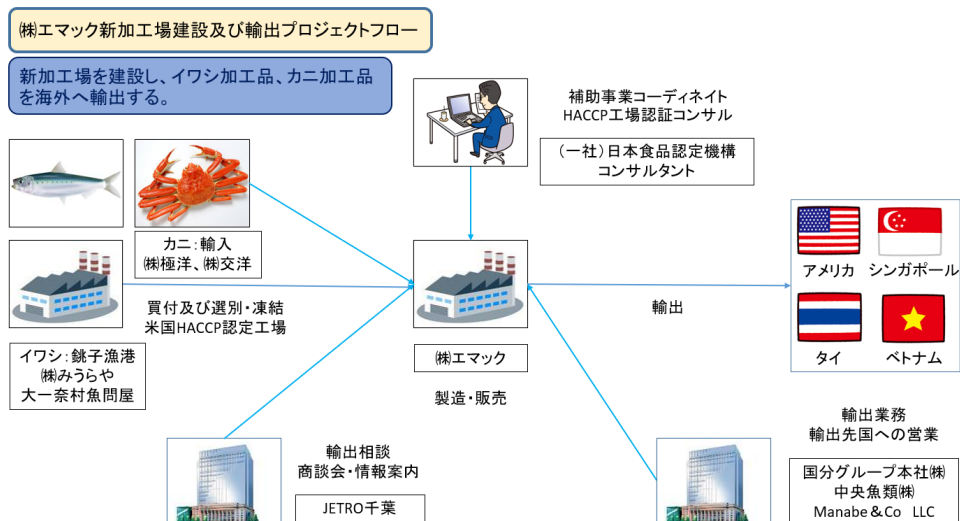
【課題】

- ・米国向け水産食品加工施設HACCP認定（対米HACCP）のための整備
- ・輸出相手国の規制の多様化
- ・安定的な原料魚を確保のために、HACCP認定を受けた工場からの直接仕入（自社向け原料の年間買付依頼）

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・対米HACCPに対応した新規工場を建設し、イワシ加工品、カニ加工品の製造を開始。
- ・対米HACCP認定を取得し、銚子漁港の豊富なマイワシ資源を活用し高付加価値加工品を生産。
- ・輸出相手国の規制に対応した工場の設備と運営を行う

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

<イワシ加工品>	現状（令和4年）	目標年（令和11年）
輸出額(千円)	0	289,000
輸出量（kg）	0	172,000
輸出先国	なし	米国、シンガポール

<カニ加工品>	現状（令和4年）	目標年（令和11年）
輸出額(千円)	13,690	131,000
輸出量（kg）	3,260	29,000
輸出先国	シンガポール	米国、シンガポール、タイ、ベトナム